

活用調査表

様式6

技術名	側溝更生用暗渠蓋 (リペアリッド)	登録 No.
		20D1007

施工内容	
施工年度	平成21年度
発注機関	長岡地域振興局地域整備部
工事名	一般国道351号バリアフリーまちづくり事業(改築)歩道工事
施工地	長岡市大島新町地内
施工数量	208m

新技術の概要	
蓋上に舗装が施せる既設側溝の修繕用暗渠蓋 ・蓋継目がない平坦で広い歩道空間に修繕可能。 ・蓋のガタツキ、騒音が解消され、供用後の蓋の傷みも低減できる。 ・蓋に備えた集水機能により暗渠化後も路面雨水の確実な排水ができる。	

トライアル工事での評価結果

比較した従来技術		側溝の蓋受け部製作後 蓋の入れ替え設置
項目	評価	評価内容
経済性	△	歩行空間を広げることが活用した目的のひとつのため、従来技術との単純な経済比較は適さない。
工程	□	蓋の大型化で設置作業が短縮できるが、舗装工程が別途必要となるため同等。
品質 出来形	○	蓋の舗装で継ぎ目段差やガタツキが発生しない。 蓋の舗装で蓋の摩耗や欠けがなく、耐久性が向上。
安全性	□	専用の吊り具で、従来の吊り具のない蓋に比べ、安全性が若干向上。
施工性	□	専用の吊り具で、機械施工による布設が可能となり、施工性が若干向上。
環境	◎	側溝蓋の上を支障なく歩行でき、異音も発生しない。 歩行空間が広がり景観が向上。
その他	側溝の暗渠化で、つまずきや転倒のおそれのない、バリアフリーに配慮した広い歩道に修繕できる。	

◎: 優れている ○: やや優れている
□: 従来技術と比べて同程度
△: やや劣っている ×: 劣っている

活用上の留意点	既設側溝が損傷している場合は適用不可能。 蓋が暗渠化されるため、蓋を開けて側溝を清掃することができなくなる。
---------	---

新技術問い合わせ先	
会社名	藤村ヒューム管(株)
所属部課	開発部
担当者	長崎 文博
TEL	0257-22-3144

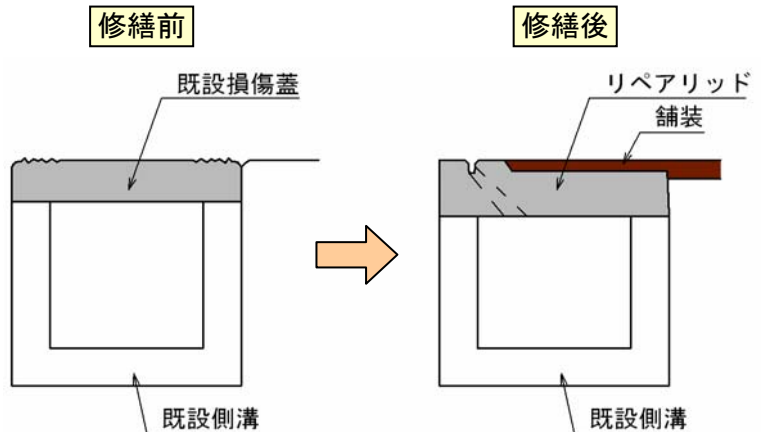


写真-1 修繕前



写真-2 リペアリッド据付



写真-3 修繕後